

産業環境委員会陳情説明資料

令和 7 年 7 月 4 日

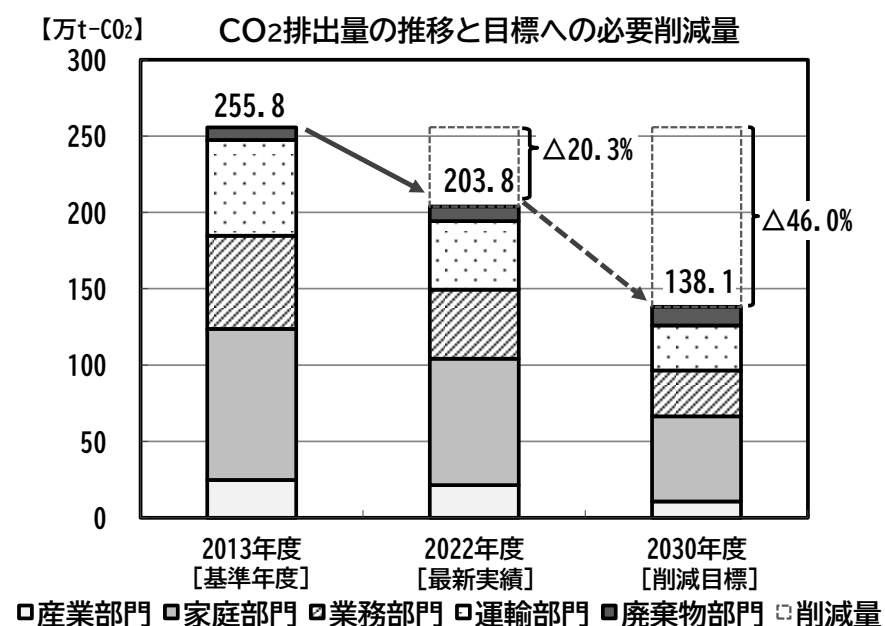
件 名	頁
(1) 6 受理番号 9 2030 年の CO ₂ 削減目標を 60% 以上と設定することを求める陳情	2

(環 境 部)

件 名	6 受理番号 9 2030年のCO₂削減目標を60%以上と設定することを求める陳情
所 管 部 課 名	環境部環境政策課
陳 情 の 要 旨	足立区環境基本計画における2030年のCO ₂ 排出削減目標を2013年度比60%以上と設定することを求める。
陳 情 者 等	請願文書表のとおり
内容及び経過	1 足立区環境基本計画に示す2030年度CO₂削減目標について (1) CO₂削減目標 2013年度比46%以上削減、さらに50%の高みをめざす。 (2) 目標設定時期 2022年3月（第三次足立区環境基本計画改定版策定） (3) 設定方法 第三次足立区環境基本計画改定版の策定に当たり、2021年4月に表明された政府の目標を参考に目標案を提示。 学識者、区議会議員、区内事業者、団体、区民で構成される環境審議会への諮問及びパブリックコメントを経て設定。 (4) 国及び東京都の削減目標 ア 国の削減目標 (地球温暖化対策計画) 2030年度に温室効果ガスを2013年度比46%削減することをめざす。さらに50%の高みに向け、挑戦を続けていく。 【2025年2月に閣議決定された新たな目標】 2035年度目標 2013年度比60%削減 2040年度目標 2013年度比73%削減 イ 東京都の削減目標 (ゼロエミッション東京戦略) 2030年までに温室効果ガスを2000年比50%削減する。 【2025年3月に公表された新たな目標】 2035年目標 2000年比60%以上削減 (5) 次回の目標検討時期 国と東京都が新たに設定した目標を踏まえ、第四次足立区環境基本計画策定（2025～2026年度）に併せて検討する予定。 検討スケジュール（予定） 2025年5月 環境審議会に環境基本計画策定を諮問 (2025年度は審議会3回開催のほか専門部会を実施予定) 2026年9月 環境審議会より答申

(6) 足立区のCO₂排出量（2022年度実績）

203.8万トン



2 日本の1. 5℃ベンチマークについて

クライメート・アクション・トラッカー（国際環境シンクタンクNGO）が2021年3月に発表した分析結果。

日本の地球温暖化対策をパリ協定の1. 5℃目標と整合させるためには、国内の温室効果ガス（※）排出を2030年までに2013年度比で60%以上削減する必要がある。

※ 温室効果ガス：主に二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、フロン類（気象庁ホームページより）

3 各区の削減目標

各区の排出削減目標（2025年5月現在）は以下のとおり。

	削減目標 の対象	基準年度 (年度)	2030 年度 削減目標	策定時期
足立区	CO ₂	2013	46%	2022 年 3 月
千代田区	CO ₂	2013	42.3%	2021 年11 月
中央区	CO ₂	2013	50%	2023 年 3 月
港区	CO ₂	2013	51%	2024 年 2 月
新宿区	CO ₂	2013	46%	2023 年 2 月
文京区	CO ₂	2013	28%	2020 年 3 月
台東区	温室効果ガス	2013	46%	2024 年 3 月
墨田区	温室効果ガス	2000	50%	2022 年 3 月
江東区	CO ₂	2013	50%	2024 年 3 月
品川区	CO ₂	2013	50%	2023 年 3 月
目黒区	CO ₂	2013	50%	2023 年 3 月
大田区	温室効果ガス	2013	50%	2023 年 3 月
世田谷区	CO ₂	2013	62.6%	2023 年 3 月
渋谷区	CO ₂	2013	46%	2023 年 4 月
中野区	CO ₂	2013	46%	2021 年 9 月
杉並区	温室効果ガス	2013	54%	2023 年 9 月
豊島区	温室効果ガス	2013	50%	2022 年 7 月
北区	温室効果ガス	2013	50%	2023 年 3 月
荒川区	温室効果ガス	2013	47%	2023 年 3 月
板橋区	温室効果ガス	2013	2025 年度目標 30%	2021 年 4 月
練馬区	CO ₂	2013	46%	2023 年 9 月
葛飾区	温室効果ガス	2013	50%	2024 年 3 月
江戸川区	温室効果ガス	2013	50%	2022 年12 月

※ 各区ホームページより確認